

【基本施策の目的】

経営資源の減少など、自治体経営を取り巻く環境が厳しさを増していく中、より多くの市民から信頼される市政運営を持続的に推進します。

【基本施策の今後の優先度】

| 判定区分 | 基本施策における課題の状況及び対応策 |
|------|---|
| | 基本施策の指標「信頼できる市政運営を行っていると思う市民の割合」は、前年度に引き続き高い数値を維持している。今後も、現状の取組みを質を高めながら進める予定であり、新基本計画の同一分野内における今後の経営資源の配分の優先度は普通と判断した。 |

【指標の分析】

| 指標 | 単位 | 区分 | 基準値 | H26度 | H27度 | H28度 | H29度 | 方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因 | 今後の見通し(予測)、今後の対応 |
|-------------------------|----|--------|---|------|------|------|------|--|---|
| 信頼できる市政運営を行っていると思う市民の割合 | % | 実績 | 55.8 | 50.9 | 45.3 | 71.7 | 73.7 | H28・29年度の指標改善は、行政改革の取組みを広報こまき等で周知したことなどが主な要因と考える。年代別では、30～50代の「勤労世代」が全体値を下回ったが、職業別では学生で86.4%と高い結果となった。 | 今後とも、現状の取組(情報の共有化、時代に即した組織体制、時代に即した人材マネジメント、効果的・効率的な行政運営、の推進)を継続的に実施していく予定であり、指標値は高い水準で維持されると考えている。なお、相対的に指標値の低い「勤労世代」に対しては、広報こまき等の従来の情報発信ツールでは効果が低いことから、他自治体の事例等を調査研究し、新たなアプローチを検討し、周知を図る。 |
| | | 目指す方向性 |  | | | | | | |

【施策推進事業の考え方】

| | | |
|--------|---------------|---|
| 経常事業 | 削減に関する具体的な考え方 | 広報等作成事業について、必要となる購入物、経費等を改めて精査し、消耗品費の削減を行う。 |
| 実施計画事業 | 資源投入の考え方 | — |

| 展開方向1 | | 名称 | 情報の共有化を推進します | | | | | 方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因 | 今後の見直し(予測)、事務事業等の見直し内容 |
|---------------------------|-----|--------|--------------------------|---------|---------|---------|---------|--|---|
| | | 目的 | 〇より多くの市民ニーズをまちづくりに活かします。 | | | | | | |
| | | 所管課 | 広報広聴課 | | | | | | |
| 指標 | 単位 | 区分 | 基準値 | H26度 | H27度 | H28度 | H29度 | | |
| 市民の意見を聴く機会が充実していると思う市民の割合 | % | 実績 | 46.5 | 42.1 | 38.7 | 61.0 | 62.1 | <p>「市民の声」制度では、市ホームページ入力フォーム・意見提出用封筒・専用FAX・意見箱と複数の提出方法を設定することにより、利便性向上についての理解が深まったこと、タウンミーティングにおいては、市内4ヶ所で開催し参加者数が増加したこと及びその結果周知を図ったこと等により実績値が上昇したと考えられる。</p> | <p>今後も同程度の割合を維持できる見込みである。「市民の声」制度では、市内12ヶ所に設置している封筒の箇所別利用状況の把握を行い、より効果的な箇所に設置できる見直し。タウンミーティングにおいては、開催形式や開催日時等を検討し、より多くの市民が参加する機会を得られるよう改善を図る。</p> |
| | | 目指す方向性 | ↑ | | | | | | |
| 市ホームページへのアクセス件数 | 件/月 | 実績 | 394,542 | 476,551 | 518,647 | 485,194 | 495,901 | <p>平成29年9月にホームページのリニューアルを行い、広報こまき等で周知した。その結果、前年と比べアクセス増となった。</p> | <p>タブレットやスマートフォンの普及により、市の情報をホームページやSNSにより取得する人が増えていると考えられるため、今後も増加する見込みである。</p> |
| | | 目指す方向性 | ↑ | | | | | | |
| 広報こまきを毎号読んでいる市民の割合 | % | 実績 | 71.9 | 70.1 | 67.5 | 68.0 | 73.2 | <p>平成27、28年度にかけて行った広報こまきのリニューアルが浸透したこと、民間事業者のスマホアプリ「マチイロ」を活用した若年層へのアプローチなどにより増加したと思われる。</p> | <p>広報こまきを読むことが比較的少ない若年層に向けて、SNS (facebook、LINE等) 等を利用し周知を図り、今まで紙媒体の広報紙を読まなかった方に、WEBで読んでもらえるよう働きかけていく。</p> |
| | | 目指す方向性 | ↑ | | | | | | |

| 展開方向2 | 名称 | 時代に即した組織体制を整備します | | | | | | | |
|---------------------------|-----|---|-------|-------|-------|-------|-------|---|--|
| | 目的 | 〇多様化・複雑化する市民ニーズや新たな行政課題を迅速に解決できる創造性・機動性の高い組織体制を確立します。 | | | | | | | |
| | 所管課 | 行政経営課 | | | | | | | |
| 指標 | 単位 | 区分 | 基準値 | H26度 | H27度 | H28度 | H29度 | 方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因 | 今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容 |
| 組織横断的なプロジェクトチームの設置数 | チーム | 実績 | 7 | 11 | 10 | 10 | 7 | <p>複数の組織にわたる問題の解決に当たって、関係部署が連携して対応する組織横断的な組織を積極的に設置・活用している。</p> <p>H29年度は、一定の成果達成に伴うプロジェクトチームの終了などにより、前年比計▲3チームとなった(終了4チーム、新規1チーム)。</p> | <p>組織横断的なプロジェクトチームは、通常の組織改正に比べ、特に課題の迅速な解決に向けた機動性の面で優れていると考えている。</p> <p>今後も必要に応じて組織横断的なプロジェクトチームの設置を積極的に進めていくことで、課題の迅速な解決に向けて取り組んでいく。</p> |
| | | 目指す方向性 | ➔ | | | | | | |
| 展開方向3 | 名称 | 時代に即した人材マネジメントを推進します | | | | | | | |
| | 目的 | 〇職員一人ひとりが、多様化・複雑化する行政需要に応えるとともに、市政の担い手としてより高い意欲を持って職務に取り組みます。 | | | | | | | |
| | 所管課 | 行政経営課 | | | | | | | |
| 指標 | 単位 | 区分 | 基準値 | H26度 | H27度 | H28度 | H29度 | 方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因 | 今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容 |
| 常に高い意欲を持って職務に取り組んでいる職員の割合 | % | 実績 | 92.6 | 91.1 | 97.6 | 95.8 | 97.4 | <p>継続して実施してきた研修や提案・改善制度などの取組効果により、指標値は継続して増加傾向にあり、目指す方向性と整合している。平成29年度においても、前年度より、実績値が1.6%上昇している。</p> | <p>研修などを通じ、人材育成を行っていくとともに、職員が働きやすく、仕事へのやりがいを高められるような職場環境づくりに努めていくことで、今後とも職員の意欲を高めていく取組みを継続していく。</p> |
| | | 目指す方向性 | ➔ | | | | | | |
| 類似団体における職員数の順位 | 位 | 実績 | 35/88 | 32/88 | 30/87 | 10/31 | 10/30 | <p>類似団体における職員数の順位は、職員数が少ないほど順位が上がる。平成28年度については、類似団体における職員数の分類変更があったため、平成27年度までと比較すると、順位が大きく異なっている。平成29年度は、前年度と比較してほぼ横ばいとなっている。</p> | <p>今後も、技能労務職の退職不補充により、職員数の減を進めるなど、引き続き適正な職員の配置に努めていく。</p> |
| | | 目指す方向性 | ➔ | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|--------|---|---|------|------|------|---|---|---|
| 提案制度に基づく取組みの実施件数 | 実績 | 4 | 9 | 11 | 10 | 10 | 提案制度に基づく提案の取組において、ここ数年継続して10件程度を維持している。今後も同提案制度に基づく提案を実際の業務に活かしていく。 | 引き続き、有効な提案について業務に活かしていくことで、業務の効率性などを図っていく。 | |
| | 目指す方向性 |  | | | | | | | |
| 展開方向4 | 名称 | 効果的・効率的な行政運営を推進します | | | | | | | |
| | 目的 | 〇企業経営の視点も取り入れながら、より効果的・効率的な行政運営の仕組みやコンプライアンス体制を確立します。 | | | | | | | |
| | 所管課 | 秘書政策課、行政経営課、財政課、契約検査課、関係課 | | | | | | | |
| 指標 | 単位 | 区分 | 基準値 | H26度 | H27度 | H28度 | H29度 | 方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因 | 今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容 |
| 無駄のない市政運営が行われていると思う市民の割合 | % | 実績 | 41.5 | 38.2 | 33.9 | 60.8 | 59.8 | <p>これまで行政評価を実施し、事業の見直し等を図り、より効果的・効率的な自治体経営の推進を行ってきた。</p> <p>なお、H28年度の指標の改善は、本市の行政改革の取組みをより市民にわかりやすく周知するために、意識調査の実施にあわせて、「広報こまき」で行政改革の取組内容を紹介したことが一定程度寄与したものと考えられる。</p> <p>H29は、施策評価を本格実施したことなどにより、指標値はH28と同程度を維持している。</p> <p>H26からH29まで、世代別では、特に50代を中心とした「勤労世代」が平均値を下回っている。</p> | <p>指標の変動に関する要因分析では、特に50代を中心とした「勤労世代」が平均値を下回っているが、この傾向は今後も継続していくと考える。</p> <p>これらの世代を中心とした「勤労世代」に対して、他の外部要因も影響しやすい市民意識調査結果に基づく指標であるものの、この意識調査結果の内容確認を通して改めて基本施策・展開方向の現状の課題を把握し、必要に応じて事務事業等の見直しを図るとともに、効果の見える化など、引き続き市民意識を考慮した事業実施が必要と考える。</p> |
| | | 目指す方向性 |  | | | | | | |